

## 聖人とシッダの詩 グル・ナーナクについて

シク教の創始者のグル・ナーナク(1469–1539 年)は、後に彼に敬意を表してナーナカーナ・サーヒブと呼ばれる村、タルワンディで生まれました。この村は現在のパキスタンに位置しています。グル・ナーナクの974のシャバド、「賛歌」は、シク教徒の聖典である『グル・グラント・サーヒブ』に含まれています。グル・ナーナクは多くの言語——サンスクリット語、ヒンディー語、ペルシャ語——を知っていたにもかかわらず、サント・バーシャー語というインドの北部と北西部に共通するさまざまな方言や言葉から生まれた言語でシャバドを作曲しました。これにより、グル・ナーナクの教えは多くの人々が理解しやすいものになりました。

グル・ナーナクは、神が創造するあらゆるもののための平和、愛、奉仕、そして互いに尊重し合うことについての教えを伝えるために、インド全土そしてインドを越えて旅しました。彼は自身の恍惚(こうこつ)の歌を通して教え、喜びに満ちた賛歌の歌唱であるキールタンの伝統を通して教え、そして神を直接体験する方法はバクティ、つまり心からの献身によってであると示すことを通して教えました。

